

## 広域連携による『木曾ツーリズム』推進事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

市町村単位ではなく、歴史的文化的に深いつながりのある「木曾地域（木曾路）」を1つの観光圏として改めて捉え直し、広域連携による観光振興を図る。また、「観光」を観光業だけではなく、「地域総合産業」と位置づけ、農林業等との連携や地域住民も担い手であるという認識を高めながら、観光地域の高みへと一歩ずつ歩みを進める。

### 事業内容

- 『木曾とおきコレクション』プロジェクト  
木曾地域の隠れた資源を地域住民の参画のもと掘り起こし、収集整理（資源の棚卸）するとともに、見せ方を変え付加価値をつけた情報発信ツール（コレクション集）を作成した。



【木曾スローフード街道フェスタ】

- 『スローフード街道』プロジェクト  
「木曾らしい」「木曾ならではの」食文化の魅力を、来訪者等に対してあらゆるシーンで、丁寧に案内・紹介できるツール（ガイドパンフ）の第一弾として「そばめぐりパンフ」を作成した。

また、木曾の食をスローフードとしてクローズアップし、地域内の特産品の開発や伝統食の伝承などに取り組む団体等と連携して、着地型観光プログラムに育てるべく『木曾スローフード街道フェスタ』を開催した。

### 事業効果

- 『木曾とおきコレクション』プロジェクト  
地域住民の参画のもと、300点に上る木曾地域の隠れた資源を整理（棚卸）することができ、各地域の資源を木曾地域全体の共有財産として位置付ける契機となった。
- 『スローフード街道』プロジェクト  
木曾地域の食文化を代表する「そば」について、広域レベルで集約されたパンフレットの作成により、圏域内外の旅行者等へのガイド機能をもつツールを得ることができた。  
また、地域内の特産品の開発や伝統食の伝承などに取り組む団体等と連携したトライアルフェスタでは、150名を超える多くの参加を得ることができ、今後の持続的な着地型観光プログラムの開発に向けた気運を高め、課題やヒントを得ることができた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 外部コンサルタントに委託することなく、地元の観光事業者や関連団体等による「プロジェクト会議」を組織し、計画策定を行った。
- 素材を公募し、会議のメンバーらが自ら写真撮影や原稿執筆を手掛けるなど、地域住民や地元事業者の協働により事業を遂行することができた。
- 今後も、会議のメンバーが主体となってプロジェクトを進めていくが、実行・実践を通じて観光事業者や地域住民がいかに意識を共有していくかが課題である。

#### 【選定のポイント】

地域資源の掘り起こしを住民参加により行うとともに、地域団体等と連携して木曾の食文化を「スローフード」としてPRするなど、地域協働を推進し、地域の特色を活かした事業の模範として評価できる。新たな観光プログラムの開発など今後の取り組みが期待される。

団体名 木曾広域連合（木曾町） 連絡先 地域振興課 横沢 電話 0264-23-1050 ホームページ <a href="http://www.kisoji.com/kisokoiki/">http://www.kisoji.com/kisokoiki/</a> メールアドレス soumu@kisoji.com	事業タイプ ソフト事業 事業費 4,911,002円 支援金額 4,138,000円
---	--